

サンダース Q & A

質問と回答

活動について

Q 1 地区の野球連盟の練習会と どう違うのですか？(中体連後のことについて)

- A 地区の野球連盟の場合はおもに練習が中心です。試合は10月末に交流試合が2試合程度あります。毎年、寒河江・西村山の中学生が参加するので人数が非常に多い(30～40名!?以上)、という話を聞きます。本チームは、そのような地区の状況を緩和するため、要望に応えるためにチームを結成しました。チームは16～17名程度と考えています。土日を中心に、8月以降はリーグ戦(約10試合)が中心となります。平日の夜間に何回か県野球場等の室内練習場なども使って練習をします。(学校生活の負担にならないように)当然、学校行事等を優先・考慮します。その場合試合も予定しません。(テスト前や学年行事など) (連盟の練習も毎週行われているようですので、そちらの方が良いと思われる方は後ほど連盟から連絡があると思います)

会費について

Q 2 どのくらいお金がかかるのでしょうか。(中体連後のこと)

- A 連盟は5000円から10000円程度の費用が必要なようです。本クラブは、高額にならない程度の練習兼試合着(上のみ)・帽子・ソックスが実費となります。(昨年7000円程度)(下は白一色なので中学の練習着で可です・アンダーシャツ・ソックス・スパイクは中学のもので可)また、運営費として月4000円を予定しています。*7月～11月まで5ヶ月(保険料・リーグ登録料・施設利用費・用具消耗費等を含む)***若干 連盟の会費よりは 費用がかかります。*** (プラス10000円～15000円くらい必要)

保険について

Q 3 けが等の保障はどうなるのですか。

- A スポーツ傷害保険に加入します。(保険内容については後日お知らせします。)

道具・用具について

Q 4 硬式の用具はどうなっているのですか？

- A グラブは軟式用でも十分です。(硬式用がある人はグラブ・バット等使っかまいません)硬式用のミット・キャッチャー道具・ヘルメット等は クラブにあります。バットもありますので、急いで用意する必要はありません。

応援等の負担について

Q 5 保護者会等の組織はあるのですか。(中体連後について)

- A 特にはありません。昨年度はありませんでした。(連絡網などはあります)付き添い負担等ありませんが、できれば塁審等できる方は交代でお願いする場合があります。一昨年は、当番制(審判やお茶当番など)でやっていただきました。顔合わせ会等で話題にしたいと考えています。

スタッフについて

Q 6 指導にあたる方は？

- A 顔合わせ会等でお知らせしたいと思います。このリーグに所属するチームの指導者(代表)のほとんどが中学の教員(野球部顧問)等です。またはスポ少指導者です。(硬式野球を指導していきたいという熱意で行っています。)コーチとしては硬式野球の経験者・または保護者等に手伝ってもらっています。専門のコンディショニングトレーナーの方にも手伝っていただいています。

これまで



今シーズンから



Q 8 11月から2月末まで冬期間どんな活動をするのでしょうか？

- A 週1回程度、硬式球のバッティングを中心に行います。(マシン打撃)硬式球をしっかり打つことによって、軟式でも効果はあります。マイナスになることはないはずですが、また、中体連後も希望があればチームのメンバーとして、JLBYのリーグに参加できます。(あくまでも中学の軟式野球がメインの時期ですので、硬式での投球など、過度には行いません。)

Q 9 3月からはどうなるのでしょうか？

- A 冬期間練習した後、3月(4月)からは、学校の部活動優先で活動してください。中体連終了まで、本クラブの活動は休止します。

Q 10 軟式野球がメインなので、硬式は、大丈夫なのでしょうか？

- A 軟式・硬式にあまりこだわらなくてもよいと思います。「大は小を兼ねる」ではありませんが、冬期はバッティング中心ですので、考え過ぎなくてもよいと思います。*例えば今年度は、他チームの2年生が、土曜は学校の練習試合、日曜はJLBYの硬式野球の試合に出場していました。

Q 11 中体連後からの入会でもよいでしょうか？

- A 当然大丈夫ですが、冬期間から活動していた人に関しては希望であれば優先したいと思います。

Q 12 シーズンの活動についてもっと知りたい。

- A 詳しくはホームページをご覧ください。練習試合やリーグ戦の結果・写真等掲載してあります。

チームの特長として

* 硬式野球のチームは、元来、専門のリトル・シニアなどがありますが、シニアに在籍すると中学では軟式野球部に在籍することができません。本チームはシニアではないクラブチームですので、軟式と兼ねても何ら支障はありません。軟式野球をメインとして、さらにその後も硬式もやってみたい、経験したいという人のためのクラブです。ただ、硬式野球は、ボールの消耗などが軟式に比べて早いということもあり、若干の費用もかかることも事実です。

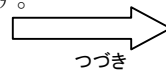
説明会等について

* 募集が集まり次第説明会を開きたいと思いますが、希望が非常に少ない場合は、冬期間の活動はなしとし、例年通り地区総体後の活動にしたいと思います。(今年度初めての試みですのでよろしくご理解下さい。)最少活動人数は約10名と考えています。(寒河江・西村山・一部他地区を含む)万一多い場合は、2チーム編成も考えたいと思います。(中体連後も)

参加について(中体連後について)

Q 7 どのような人が参加しているのですか？(中体連後について)

- A 中体連を引退した県内各地区の3年生が中心です。シニアリーグとは違う独自の組織(リーグ)です。引退後にシニアに入る人もいますが、引退後の時期は、シニアリーグの試合はほとんど終わっているようです。中体連の上位の大会に進出している場合には中学の大会を優先して下さい。(大会後から参加可です)練習は地区総体後から始めますが、リーグ戦は夏休み後半から始まる予定です。(中体連の結果を考慮して、県大会の出場等で後日から参加の場合などでも大丈夫です。)



つづき